いのち　　９号

令和４年６月 16 日
大和市立大和中学校
校長　藤井　明

５月下旬から６月中旬にかけて、各学年の一大イベントである遠足・キャンプ・修学旅行がありました。大きなケガもなく、全学年とも晴バージョンで実施できました。

各学年とも、「いのち」を大切にする心を育む実践や本校の重点の一つである、お互いに得意分野を生かしてみんなで創り上げることが組み込まれていました。

１年生　遠足　　「いのち」をありがとう

5 月 31 日（火）朝から小雨でしたが、天気予報では海の公園につく９時頃には曇。
本校は迷わず海の公園へ。事前情報では 5～6 校が集まるはずでしたが、どうやら他校は行先を変更したようで、浜辺は本校の貸し切り状態でした。潮干狩りで採ったあさりは、家庭で、そして次の日学校で味噌汁にしておいしくいただきました。　「いのち」をありがとう。
『いただきます』とは、アナタの大切ないのちを「いただきます」　感謝を込めて・・・

２年生　キャンプ　　一人ひとりの得意分野を生かしたキャンプファイヤー

6 月 12～13 日（日～月）天候にも恵まれ自然に囲まれた愛川ふれあいの村でキャンプを実施しました。メインイベントであるキャンプファイヤーでは、生徒が中心となり思いっきり楽しんでいました。きっと思い出に残る時間を過ごしたことでしょう。ただし、忘れないでほしいことは、このキャンプファイヤーは学年の生徒全員が様々な役割を担い創り上げたということです。エールマスター、儀式の言葉、スタンツのリーダーなど、みんなの前に立ち活躍した人も立派でしたが、しおりの作成に関わった人、友だちを励ました人、スタンツの裏方で事前準備をした人、片付けを率先してやってくれた人など一人ひとりの力が結集した成果です。

３年生　修学旅行　　感謝の手紙

6 月 1～3 日（水～金）夏を思わせるような陽気の中、当初の予定通り（2 年時のキャンプは 2 回の延期の末、期間短縮）修学旅行に行ってきました。
迫力ある大仏や歴史ある寺社仏閣を間近に見たり、奈良公園ではシカに囲まれビックリしたりしながらも実り多き 3 日間でした。
初日の夜には「感謝の手紙」に取り組みました。思春期に入り、日頃なかなか伝えられない感謝の気持ちを、禁断症状が出そうなスマホを封印し、京都の絵葉書に自筆で想いを書き留めました。
きっと一人ひとりの想いが伝わっていることでしょう。